

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和2年度 第1回入間市総合教育会議
開 催 日 時	令和2年9月2日(水) 午後1時00分 開会、午後2時30分 閉会
開 催 場 所	市庁舎B棟5階 第4委員会室
議 長 氏 名	-
出席委員(者)氏名	市長 田中龍夫 教育長 西澤泰男 教育長職務代理者 河村佳樹 教育委員 高山茂 教育委員 橋本清美 教育委員 山本和人
欠席委員(者)氏名	-
説明者の職氏名	教育部参事兼学校教育課長 北野晃 企画部企画課政策推進室長 石原健二
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	(すべて公開) 1. 開 会 2. 挨 拶 3. 協議・調整事項 (1) 学校における新型コロナウイルスの影響とその対応について (2) その他(フリートーク) 4. 報告事項 (1) 地区センターの整備に係る各種団体からの意見の聴取状況等 について 5. その他 6. 閉 会
傍 聴 者 数	1名

配 布 資 料	<p>資料 1-1 : 新型コロナウイルス感染症対応</p> <p>資料 1-2 : 臨時休業等に伴う児童生徒の受け入れ状況</p> <p>資料 1-3 : 入間市立小・中学校版 新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン</p> <p>資料 2 : 新型コロナウイルス感染症拡大防止等に資する教職員の勤務等について</p> <p>資料 3 : 令和 2 年度 入間市立小・中学校教育課程実施状況等</p> <p>資料 4-1 : 新型コロナウイルス感染症発生時 休業等目安</p> <p>資料 4-2 : 新型コロナウイルス感染症発生時 臨時休業等基準</p> <p>資料 4-3 : 新型コロナウイルス感染症発生時 臨時休業等基準 根拠</p> <p>資料 5-1 : 入間市 G I G A スクール構想について</p> <p>資料 5-2 : 教育効果と活用方法について</p> <p>資料 6 : 新型コロナウイルス感染症 第 2 波に向けた準備等</p> <p>資料 7 : 地区センターの整備に係る各種団体からの意見の聴取状況等について</p>
関係者職氏名	<p>○教育部</p> <p>教育部長 新見輝明、教育部次長 片寄貴之</p> <p>教育部参事兼学校教育課長 北野晃</p> <p>教育部副参事（教職員指導担当） 伊藤浩二</p> <p>教育総務課長 村田雄一、教育総務課主幹 千葉茂</p>
事務局職員職氏名	<p>○企画部</p> <p>企画部長 鳥山政之、企画部次長 浅見嘉之</p> <p>企画部企画課政策推進室長 石原健二</p> <p>企画課政策推進室副主幹 森正行、企画課政策推進室主事 佐藤雄亮</p>
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

<協議・調整事項>

(1) 学校における新型コロナウイルスの影響とその対応について

学校行事から日常の生活に至るまで、様々な観点から新型コロナウイルス感染症による影響について情報を共有した。

他自治体で行われている事例のうち、良いものを積極的に取り入れるなど、状況の変化に応じた対応を続けていくこととした。

(2) その他（フリートーク）

インフルエンザの流行期の対応方法について、現状のマニュアルにある課題を確認した。国や県からの情報に合わせ、対応していくこととした。

<報告事項>

(1) 地区センターの整備に係る各種団体からの意見の聴取状況等について

現在の地区センター化計画の状況と、主だった意見について説明を行った。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する)</p> <p><進行：鳥山部長></p> <p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶</p> <p>3. 協議・調整事項</p> <p>(1) 学校における新型コロナウイルスの影響とその対応について</p>
鳥山部長	<p>議題について教育部より説明を願う。</p>
北野参事	<p>それでは配付資料の説明と補足を行う。</p> <p>(資料1-1、資料1-2、資料1-3、資料2、資料3、資料4-1、資料4-2、資料4-3、資料5-1、資料5-2、資料6を説明。以下、補足)</p> <p>資料1-1</p> <p>2月28日～8月20日の校長会における指示・通知内容の一覧。</p> <p>国の要請を受け、市教育委員会は校長会と連携を密にして臨時休校や再開の対応をしている。</p> <p>資料3</p> <p>(1)の表は(2)の取組後の数値。標準時数に達していなくても、学校で履修が認められれば良いというのが国の方針。</p>
鳥山部長	<p>これより、意見交換に入る。ただいまの報告について、意見をお願いします。</p>

発 言 者	発 言 内 容
田中市長	<p>まず、新型コロナウイルス感染症への現場の臨機応変な対応に感謝する。しかし、今後インフルエンザが流行して学級閉鎖が行われるとさらに授業時間が減るため、その際の対応を考えておく必要がある。それについてお聞かせ願いたい。</p> <p>次に、G I G Aスクールの関係である。先般、教育長とともに、仏子小学校・西武中学校出身の熊本市教育長と、オンラインで意見交換をした。熊本市教育長によると、熊本市はすべての児童・生徒・先生に端末を配り終えているが、まだ慣れる程度のことしか行えていないとのことであった。入間市でもオンライン授業導入の声が寄せられているが、それはオンラインで通常の授業の内容を行うという要望ではないか。今年度中に端末を配り終えても、それをどのように活用していくかが重要となる。今後、入間市としての目標・行程を明らかにする必要がある。オンライン授業によって先生と生徒のストレスが増大してしまったというケースも聞いている。現在の計画を聞きたい。</p>
北野参事	<p>まず、インフルエンザへの対応については、今年度に限らず健康観察を実施している。養護教諭を中心に校医と連携して学級閉鎖等の判断をする。</p> <p>次にG I G Aスクールへの対応については、資料５－１裏面備考欄にもあるように、各校の代表者への操作研修を計３回行う。また、各学校の要望に応じて業者に説明会を行っていただく。学校内でも端末の扱い方の習熟度に差が生じられると思われるため、習熟した教員が学校内での指導研修を行っていくことを考えている。</p>
田中市長	<p>インフルエンザへの対応については、現在の削られた授業日数に加え、インフルエンザによる学級閉鎖が決まった場合に、授業日数の確保をどうするのかを聞きたい。G I G Aスクールの導入については、詳細な計画を</p>

発 言 者	発 言 内 容
西澤教育長	<p>教員と共有しておかなければ、時間ばかりが経過する。教育委員会で考えて、教員と意見調整して進めていかななくてはならない。</p> <p>端末を用意したが使わない、となっては意味がない。それを防ぐために先生が機器を使えること、またその前に、管理職が興味を持つことが必要になる。なお、校長会において、スマートフォンを用いたオンライン会議の演習を行った。</p> <p>端末が子どもたち全員に行き渡るのは年度末近くになるようだが、4000台については早期に導入し、休校時にオンライン環境のない子どもに貸し出せるようにしていきたい。</p> <p>以前、学校に校務用パソコンが導入されたとき、運用開始後もしばらくは専門業者に操作方法の指導を受けた。今回の端末でも同じようにできないかと考えている。ＩＣＴに長けている教員を中心に、学校の中で活用していきたい。</p> <p>一番の目標は、授業の中で活用することである。熊本市では休校時のオンライン授業というよりも、教員がオンラインで朝の会を実施し、子どもの顔を見てコミュニケーションを取る、その日の課題提示等、気軽に使ってもらえるツールとして運用したことで、教員や子どもたちを上手く機器に慣れさせることができたのではないかとと思われる。</p>
田中市長	<p>一つ確認したい。子どもたちは自宅学習が長期間続き、外にも思うように出られず、ストレスが溜まっているのではないかと思うが、どのような状況か。</p>
西澤教育長	<p>8月24日から2学期が始まったが、休んだ児童はほとんどおらず、子どもたちは学校再開を楽しみにしていたと思われる。自宅でも学校でも地域でも、新しい生活様式を自分に言い聞かせて行動しているため、ストレ</p>

発 言 者	発 言 内 容
橋本委員	<p>スは溜まっているだろうが、友人に直接会うことでそのストレスが解消されればよいと思う。子どもは先生からよりも、子ども同士で多くのことを学ぶという話を聞いたことがあるが、その通りだと思う。</p> <p>私の子どもたちは、学校に行けなかった頃、最初のうちは学校へ行きたいと言っていたが、次第に休校という環境に慣れてくると、朝起きる時間が遅くなってしまった。学校側もそうした事情を汲み取って、多くの量の課題を一度に出すのではなく、1週間単位、10日単位で出し、それをこなして、保護者が提出するという形だったため、子どもたちは自分で時間割を組んで動けたのでやりやすかったのではないかな。</p> <p>学校再開後も、友達に会えてうれしそうではあるが、新型コロナウイルス感染症の影響で今まで通りにはいかず、ジレンマはあるようだ。子どもたちに慣れてもらうしかないが、どうしても慣れない子どももいるので、考えていかななくてはならない。</p> <p>運動ができるようになって、密を避けるために今までと同じような体育ができなかったり、給食を友達と話しながら食べることができなかったりということはストレスになっていると思う。</p>
山本委員	<p>在宅の生活は近隣の友達とコミュニケーションをとることも難しい。子どもたちは従来の発達過程とは違った環境に置かれているが、これからのことは誰にも予想のつかない状態になっている。</p> <p>当面は家でできることをやっていこうという動きも見られるが、そうすることで子どもが従来のように発達するのか否かについて今の時点で判断するのは難しい。</p>
鳥山部長	<p>新しい生活様式というものが何であるのかつかみきれない中で、子どもにどう影響があるのかは見えていかななくてはならない。</p>

発 言 者	発 言 内 容
河村委員	<p>在宅での交流や、人と人との関わりという話が出たが、例えば子ども会や自治会の動きも変化しているところで、地域と子どもの関わりについてご意見はあるか。</p> <p>外へ出て人と会わない子どもほど、家庭での教育が求められているのではないか。親の価値観や判断力に問題がある場合に、それがそのまま押し付けられると、子どもが自分で考えて行動することができにくくなってしまう。そのことについて、地域で考えていく必要がある。</p>
鳥山部長	<p>藤沢地区で地域のイベントが開催されたとのことだが、どのようなものだったか。</p>
橋本委員	<p>地域のイベントが満足に行えないことへのストレスがあり、学校が始まってからもそれは解消されないだろうことから、子どもたちを楽しませてあげたいと考え、一斉に各家庭から子どもたちが風船を飛ばすというイベントを区長会と考えた。風船は土に還る材料で作リ、風船の配布時は密を避けるために車から降りずに受け取れる方式等を用いた。また、翌日に風船のゴミを配布場所まで拾ってきた子どもに花火をあげ、その日の夜に自宅で遊んでもらった。火災にも配慮し、その時間帯に消防団に巡回も行ってもらった。</p> <p>現在は第2弾として、藤沢地区の各所に行ってスマートフォンのアプリを使うと、クイズが出てくるようなイベントを、第3弾としてハロウィンを取り入れたものも考えている。藤沢地区では最近不審者が多いので、警備も兼ねて行えればと考えている。</p>
鳥山部長	<p>子どもたちにとって初めての感染拡大の中での生活で、人との繋がりや成長についても今までと違う考えで進めていかななくてはならない。地域の</p>

発 言 者	発 言 内 容
高山委員	<p>中では様々な工夫をしている。</p> <p>教育委員会からの報告にもあったように、学校の授業やイベントも変わってきており、教育現場の中でも新しい環境に適した教育を考えていかななくてはならない。その点について、何かご意見のある方はいるか。</p> <p>授業時間は減ったが、義務教育である以上、学習指導要領の範囲は教えなければならず、現場の先生方は苦勞されているのではないか。</p> <p>GIGAスクールにも良い面と悪い面がある。面と向かって交流しながら育むという教育の基本が、オンライン化することでなくなってしまう恐れがある。</p> <p>また、SNSでのいじめ・誹謗中傷が増えていることは大変懸念している。子どもの健やかな成長のため、こうした目に見えない箇所にも対応が必要となる。</p>
鳥山部長	<p>新しい教育ツールを使っていく中でのプラス面、マイナス面の話が出た。SNSによるいじめや誹謗中傷については、過去にこの会議の場でも話し合ってきたが、現在何か問題は発生しているか。</p>
西澤教育長	<p>現在のところ、入間市ではコロナウイルス感染症に関わるいじめは報告されていない。</p>
田中市長	<p>橋本委員の話に出てきた、一つの事業を地区全体で行うという手法は、他の地区にも知らせて参考にできたらよいと思う。</p> <p>また、様々な事業が取りやめになる中、修学旅行は実施できるのか。その際、Go to キャンペーンは使用できるのか。</p>
西澤教育長	<p>修学旅行にGo to キャンペーンは使用できる。</p>

発 言 者	発 言 内 容
山本委員	<p>修学旅行については、実施したいという前提で、校長会と教育委員会で協議を重ねて進めた。新幹線の割り当て等、業者が間に入って関東全体の学校と調整が必要となったが、市内の小学校・中学校は、2学期以降へ延期することができた。</p> <p>キャンセル料については業者によるが、当日だと100%、7～8日程前だと30%発生する。キャンセル料については、補正予算で対応している。</p> <p>8月27日に豊岡小学校が実施したが、現地は混雑もなく、地元の観光業の方からは感謝された。</p> <p>部活動については、夏の大会は市内だけで行った。今後、予定されている新人戦は、市内大会を行うことが確定しているが、県大会へ繋がるかは未定。保護者の来場制限や、会場を分けて開催する等の対応を行い、実施したい。</p> <p>運動会については保護者の来場を制限し、学年ごとに時間帯を分散したり、集団演技等の種目を減らしたりして行う予定である。</p> <p>今後も子どもにとって思い出になり、学んだことを活かせる教育活動については、可能な限り実施したい。</p>
	<p>インフルエンザと新型コロナウイルス感染症への対策が相反してしまわないか。インフルエンザの対策は部屋を暖かくするが、新型コロナウイルス感染症の対策では密閉ができない。そのあたりはどうか。</p>
	<p>手洗い・うがいは徹底して継続する。その他の対応については、県や国の指示に従う。</p>
	<p>40人学級といった大人数クラスの3密対策はどうなっているか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
西澤教育長	<p>当初、2週間は分散登校を行ったが、現在は行っていない。ただし、マスクの着用や会話時に対面を避ける等、工夫して対策を行っている。特に、マスク着用と食事前の手洗いと手指消毒は重要だと考えている。</p> <p>学校によっては市で購入したパーテーションを活用している。学力差の大きい教科によっては教室を分けて少人数で授業を行ったりもしている。また、給食は全員が教室の正面を向いて無言で食べている。</p> <p>体育や暑い日の登下校の際はマスクを外させている。その際、必ず2メートル以上離れて動くように徹底している。</p>
高山委員	<p>窓を開けながらエアコンを使うと、効きが悪いのではないか。</p>
北野参事	<p>特にエアコンの効きが悪いといった声は出ていない。窓は全開にしているわけではなく、調整している。</p>
河村委員	<p>理科や技術といったグループ学習や学び合い等はどうしているのか。</p>
北野参事	<p>新学習指導要領に従い、必ずマスクを着用した上で、少しずつ試行的に取り組んでいる。</p>
西澤教育長	<p>音楽の歌唱は行えていない。授業内容の年間計画を前後に調整すること等の対応をしているが、新型コロナウイルス感染症が終息しないので、今後どうなるか見えない部分がある。</p>
山本委員	<p>以前は感染を防ぐことが最優先で、消毒も完璧にやらなければならない、というマニュアルだった。現在は、何から何まで消毒するのは非効率的と言われるようになった等、求められる対応も変化している。良い事例は採り入れ、共有していくことが大切だと思う。</p>

発 言 者	発 言 内 容
鳥山部長	<p>対応の仕方が変化する中で、学校、子どもたちの生活の中でも全国の事例を柔軟に取り入れ、現場に生かしていく。</p>
西澤教育長	<p>ヨーロッパでも学校でのマスク着用を義務化する等、対応が慎重になってきている。日本では当初から細心の注意を払って対応してきたが、これまでの経験から少しずつWithコロナに転換してきている。国によっていぶん異なるようだ。</p>
鳥山部長	<p>未曾有の経験の中で、学びながら対策していくしかない。現場の中では、様々な対応を図っていることにご理解をいただきたい。</p> <p>本日いただいた意見については、今後の対応の参考とさせていただく。</p>
	<p>(2) その他（フリートーク）</p>
鳥山部長	<p>委員から何か議題はあるか。</p>
橋本委員	<p>今まで、インフルエンザの症状等で欠席人数が多い場合、給食を食べてから下校するように指導していたが、インフルエンザか新型コロナウイルス感染症か判別できない場合も同様の対応か。</p> <p>登校後にインフルエンザや新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖が決まった場合、どのタイミングで児童・生徒を帰すのか。給食を食べてからか。</p>
北野参事	<p>校種によって異なると思われる。小学校ではすぐ帰すことはなかなか難しいが、中学校ではすぐ帰す対応もあり得る。ケースバイケースの対応である。</p>

発 言 者	発 言 内 容
西澤教育長	<p>インフルエンザに限って言えば、休む子の数、早退する子の数、登校しているが体調のすぐれない子がどのくらいいるか等を考慮して、校医と相談した上で、学級・学年・学校閉鎖を判断する。北野参事からの説明にもあったように、校種にもよるが基本的には給食を食べてから帰すことになると思われる。</p>
橋本委員	<p>近隣の自治体の事例だが、インフルエンザか新型コロナウイルス感染症かの判別ができない場合は対応ができないので、保健所を案内するようにしている。その場合、インフルエンザかどうか学校への連絡ができず、欠席者が増えてきたときの対応が困難なのではないか。</p>
高山委員	<p>今後の課題ではないか。新型コロナウイルス感染症については、検査に時間がかかることが問題になってしまっている。</p>
田中市長	<p>現在は発熱したら、新型コロナウイルス感染症の可能性があるので、必ず自宅待機することになっている。</p> <p>インフルエンザの時期になると、執行部のマニュアルを精査し、教育委員会も対応方法を考えておく必要がある。</p>
西澤教育長	<p>登校してから徐々に熱が上がってくる場合もある。現在、体調不良の子は別室に隔離し、その後保護者に連絡を取って迎えに来てもらい、受診してもらっている。</p> <p>国や県のマニュアルを基にして、市の対応を決めており、今後も同様にしていく。</p>
鳥山部長	<p>悩ましい課題だが、インフルエンザの蔓延期に新型コロナウイルス感染症との区分けをどうしていくのか、また、競合したマニュアルについてど</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>う対処するかについて検討していくことになるが、国や県の情報を得ながら対応を図っていく。</p>
鳥山部長	<p>4. 報告指示事項</p> <p>次に報告事項に入る。地区センターの整備に係る各種団体からの意見の聴取状況について、企画課政策推進室長から説明する。</p>
石原室長	<p>地区センターの整備に係る各種団体からの意見の聴取状況等について説明する。</p> <p>(資料7を説明)</p> <p>各団体の意見の内容は現在集計中である。</p> <p>今後、当会議においても、報告案件がある場合は、その都度報告する。</p>
鳥山部長	<p>ただ今の報告事項について、質疑等はあるか。</p>
高山委員	<p>意見の聴取を行ったとのことだが、主にどのような意見が出たか。</p>
石原室長	<p>現在集計中だが、現在までに把握しているところでは、各設問に対し、次のような意見が出ている。</p> <p>一問目の「現在支所や公民館で提供しているサービス、職員が対応している事務、施設の機能等のうち、今後必要不可欠ものはなにか。」という設問に対しては、現在行っていることすべてが大事であるという意見が大勢を占めている。その他、会議室等の貸し出し業務、学びの場の提供は続けてほしいという意見もあった。</p> <p>二問目の「サービスや利用方法、運営方法について改善を望むことや新たに組み込んでほしいことはあるか。」という設問に対しては、防災機能の充実という意見が多かった。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>三問目の「地区センターへ移行するにあたり、期待することや不安なこと、その他全般的な意見はあるか。」という設問に対しては、配置される職員の数が気になるという意見が多かった。今よりもサービスが落ちないよう、職員の配置をしっかりとしてほしいとのことだった。そして、不安なこととして、施設の統廃合に伴う減少による移動距離の増加、高齢者への配慮、緊急時の避難所の運営について挙げられていた。</p>
鳥山部長	<p>事務局からあったように、今後も進展があり次第、総合教育会議の中でも報告していくため、引き続きよろしくをお願いしたい。</p>
高山委員	<p>学校の統廃合の状況について、進捗はどうか。</p>
新見部長	<p>野田地区・西武地区の中学校、宮寺二本木地区の小学校の検討会議を設置している。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で会議が開催できずにいた。8月から協議を再開しているが、現在はまだ統廃合について意見を聴取しているところである。</p>
鳥山部長	<p>まだ再開後1回目の会議が終了したところである。次回の総合教育会議までに動きがあるようであれば、公共施設マネジメント推進課からも説明をするよう調整する。</p>
鳥山部長	<p>5. その他</p> <p>連絡事項として、事務局より、次回の総合教育会議の日程について申し上げる。</p>
石原室長	<p>次回の総合教育会議は、年末ごろの開催を予定している。日時等詳細が決まり次第、改めて連絡する。</p>

発 言 者	発 言 内 容
鳥山部長	<p>6. 閉会</p> <p>以上で閉会とする。</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和2年10月29日

市 長 の 署 名

田中龍夫

教 育 長 の 署 名

西澤 泰男